

道徳通信

愛西市立八開中学校

道徳通信

令和3年11月17日

3-A No. 1

青ブロックの教職員



**「目標をもって学び、困難を乗り越えて自分を高めていくことについて考えよう」
～道徳「私の再出発」を通して考えました～**

中学校の「夜間学級」に、78歳で入学した見目律子さん。戦争末期に子供だった見目さんは、複雑な家の事情もあり、中学校には進学できませんでした。その後、地方公務員として63歳まで働き子どもを自立させた後、自分のことが気になります。「街で英語の看板を見ても何が書いてあるのかわかりません。わからないままで終わらせたくない。たった一度の人生、悔いを残したくない。」と、役所に相談に行き、「夜間学級」があると知り、入学することができました。見目さんが書いた作文を通して、目標をもって学び、自分を高めていくことについて考えました。

●● ●●さん

何事もプラスな気持ちが無ければ乗り越えられないと思うので、自分のやりたいことを見つけ楽しんで学んでいきたい。

●● ●●くん

自分の好きなことを追求することは、大切だと思った。年齢に関係なく興味や好奇心を持ち好きなことに取り組むことの大切さをした。

●● ●●さん

今回の授業をする前は、学ぶことに対して嫌な気持ちがあったけれど、見目さんの作文を読んで、色々なことに挑戦して学ぶことが大切だと気持ちが変わりました。見目さんは、夜間学級へ行ったり、高校に進学したりすることで、途中で諦めず最後まで学び続けることができてよかったと達成感を得られたと思いました。

●● ●●さん

義務教育のおかげで普通に教育が受けられていることに感謝しないといけないなとおもいました。自分の好きなことに挑戦していきたくてと思いました。やるべきかやらなくても良いか、と迷った時やらなくて後悔することが多いので挑戦することを忘れず自分の選択肢を広げていきたくてと思いました。

●● ●●さん

勉強したくてもできない人がいることをあらためて実感し、自分が恵まれている環境にいることに気づいた。勉強したいと夜間学級に通った見目さんは本当にすごいなと思った。私ももっと知りたいと夢中になれることができるといいなと思う。

●● ●●さん

自分たちが生まれたこの時代は見目さんの時代より恵まれているので、今できることを精一杯やり、見目さんのように人生に後悔がない生き方をしたいなと思いました。

●● ●●さん

今は、学校が通えることが当たり前だけど授業を受けられることに感謝して、苦手なことも最後まで諦めずにやってこうと思いました。

●● ●●さん

勉強は当たり前ではないことが再確認できた。そして勉強は苦痛という不満がどれだけ傲慢で幸せかということがわかった。